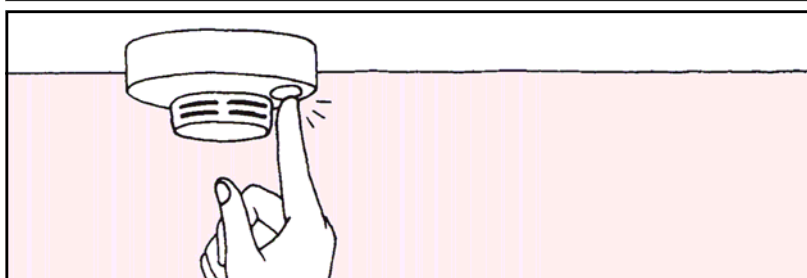
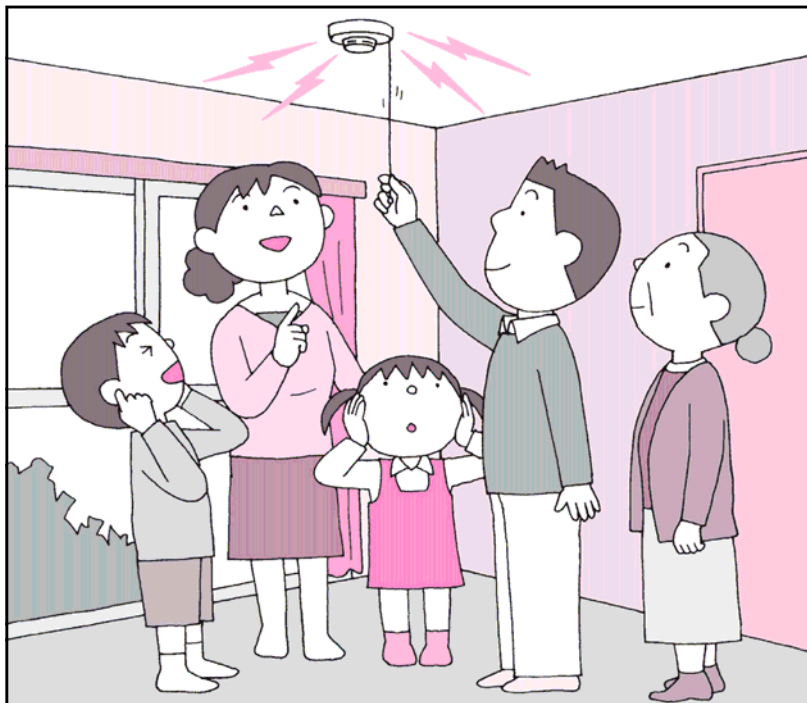


## 4 住宅用火災警報器の点検方法・お手入れ（維持管理）

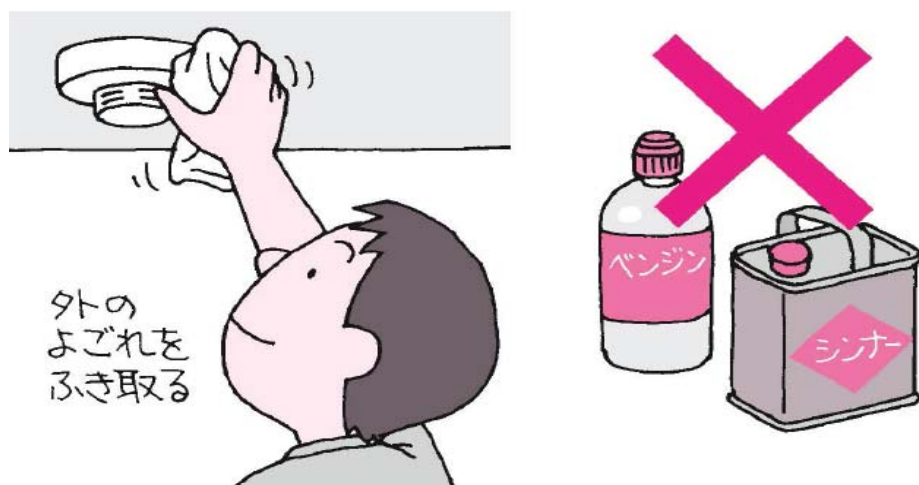
### ○点検方法

火災のときにきちんと作動するよう、定期的に点検を行いましょう。



- ・住宅用火災警報器にある「ボタンを押す」あるいは「引きひもをひく」ことで、警報音がきちんと鳴るかどうか、確認しておきましょう。
- ・作動点検時に警報音が鳴らないときは、電池切れや故障している場合が考えられます。
- ・点検は、定期的に確認する時期を決めておくとよいでしょう。
- ・点検の際は、実際の警報音がどのようなものであるかを家族で確認しましょう。
- ・「電池を交換した後」、「お手入れを行った後」、「長期間留守にして戻った後」などにも、きちんと作動するかチェックしておくと安心です。
- ・天井などに設置されている住宅用火災警報器の点検は、高い所での作業になりますので、安定した足場を確保するなど、転倒や落下に十分気を付けて行う必要があります。

## ○お手入れ



ホコリなどによる誤作動が起きた場合、次のようなことに注意してお手入れをする必要があります。

- ・ベンジンやシンナーなどの有機溶剤を使ってふいたり絶対にしないでください。
- ・水洗いはしないでください。
- ・機器を分解したりすると故障の原因につながります。お手入れする場合でも分解しないようにしましょう。
- ・天井などに設置されている住宅用火災警報器のお手入れは、高い所での作業になりますので、安定した足場を確保するなど、転倒や落下に十分気を付けて行う必要があります。